

特記仕様書(重要事項説明書)

工事名： 御坂中学校グラウンド整備工事

1. 施工条件明示事項について

当該工事の施工条件に関して、下記のとおり明示する。なお、下記の表に明示されていない事項及び明示の内容に疑義があるときは、発注者と協議するものとする。

明示項目	明示事項		明示事項内容及び参考
工程関係	<input checked="" type="checkbox"/>	他の工事の開始または完了の時期による影響	現在、御坂中学校躯体解体及び外構工事を実施しており、本工事の対象範囲に仮囲い及び仮設駐輪場が設置されている。工期末はR8.7.31を予定しており、同工事完了後、仮囲い及び駐輪場が撤去されるため、グラウンド整備に着手する工程を調整すること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	関係機関等との協議による施工条件	市、中学校、工事関係者と定期的に会議を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/>	地元自治会等との打合せ協議	近隣住民及び、近隣施設へのチラシ配布、工事看板等により十分な周知をすること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	施工期間、施工時間及び施工方法の制限	現在行われている御坂中学校躯体解体及び外構工事に加え、柔剣道場改修工事(建築主体・機械設備工事、電気設備工事)を予定しており工期が重複する。生徒及び学校関係者に影響のないよう各工事の工程を調整し、対策を講ずること。
用地関係	<input type="checkbox"/>	工事用地等に関する条件	
	<input type="checkbox"/>	工事用仮設道路・資機材置場用の民有地等の借地	
	<input type="checkbox"/>	工事用地等の使用終了後における復旧内容	
周辺環境・保全関係	<input checked="" type="checkbox"/>	工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	学校行事に配慮し、騒音・振動が懸念される工事については学校に協力すること。
	<input type="checkbox"/>	工事に伴う影響が懸念される場合(家屋調査等)	
	<input type="checkbox"/>	水替え・流入防止施設	
	<input type="checkbox"/>	濁水、湧水等の処理対策	
	<input type="checkbox"/>	地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間に関すること	
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/>	交通安全施設等の指定	作業範囲はバリケード等により人が侵入しないよう徹底を図ること。
	<input type="checkbox"/>	近接工事での施工方法、作業時間等の制限	
	<input checked="" type="checkbox"/>	工事関係車両等の出入り制限対策	近隣施設の利用者や登下校時の生徒に対し、工事関係車両の出入り等については十分配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	交通誘導員及び保安施設、保安要員の配置	本工事において、法定福利費を含む、交通誘導警備員(B) 50人を見込む。主に機材等の搬出入時に交通誘導を行うものとする。 また、別途工事の請負業者等と打合せを密に行い適切に保安施設等の配置を行うこと。
	<input type="checkbox"/>	有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	
工事用道路関係	<input checked="" type="checkbox"/>	工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	施工期間の間が開く場合は安全対策を講ずること。
	<input type="checkbox"/>	搬入路の使用及び使用後の処置	
	<input type="checkbox"/>	仮設道路の設置	
	<input type="checkbox"/>	一般道路の占用及び条件	
仮施設関係	<input type="checkbox"/>	仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用もしくは兼用	
	<input type="checkbox"/>	仮設備の構造及び施工方法の指定	
	<input type="checkbox"/>	仮設備の設計条件の指定	
建設副産物関係	<input checked="" type="checkbox"/>	残土の受入及び仮置場所までの距離、時間等の処分条件	搬出場所：山梨県新環状道路建設事務所所管のストックヤード 所在地：笛吹市石和町東油川地内 運搬距離：8.0km
	<input type="checkbox"/>	建設副産物の現場内での再利用及び減量化	
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設副産物及び建設廃棄物の処理	適切に処分を行うこと。また、国土交通省ホームページから「建設リサイクル報告様式」(EXCEL形式)をダウンロードし、データの入力を行い提出すること。

明示項目	明示事項		明示事項内容及び参考
障工 関事 係支	<input type="checkbox"/>	占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	<input type="checkbox"/>	本体工事との重複施工・重複箇所	
地盤 係改良 関	<input type="checkbox"/>	薬液注入工法の施工	
	<input type="checkbox"/>	その他の地盤改良の施工	
	<input type="checkbox"/>	周辺環境への調査	
その他	<input checked="" type="checkbox"/>	厳守事項	工事においては、信頼・品位を損なうような言動、行動を慎み誠実な対応を心がけること。
	<input type="checkbox"/>	工事現場発成品	
	<input type="checkbox"/>	支給材料及び貸与品	
	<input checked="" type="checkbox"/>	工事用水、電力等の指定	市及び、学校と協議による
	<input checked="" type="checkbox"/>	異業種間の調整	重複する工事との調整については、業者間で対等な立場で協力し合い、安全に配慮しながらスムーズな現場運営に努めること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	積算について	・適用工種：新築建築工事 ・共通費積算上工期(T)：4か月
	<input checked="" type="checkbox"/>	週休2日制について	3. 週休2日制について に基づき、行うものとする。 なお、本工事の予定価格の算定については次のとおり算定している。 【積算適用補正率・・・通期の週休2日 労務費及び現場管理費の補正なし】
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	その他、細部については別途契約している工事監理業務委託業者(監理者)に従うこと 生徒や学校関係者の安全に十分配慮すること。

2. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

監理技術者制度運用マニュアル(平成16年3月1日国総建第315号)三-(2)-③に基づき、工場製作を含む工事全般について、工場製作のみが行われている期間として、下記のとおり実施するものとする。

①現場施工に着手するまでの期間

請負契約の締結の日の翌日から準備期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、発注者と協議の上、定めるものとする。

②専任を要しない期間の連絡体制、安全管理について

工事現場で実際、作業が行われていない期間においても、発注者との連絡体制の整備や必要に応じて現場の維持管理があることから、次の事項について打合せ協議簿で提出すること。

(1) 電話等により確実に現場代理人又は主任技術者等と連絡が取れること

(2) 緊急時(自然災害や事故等)に速やかに対応できる体制であること

専任を要しない期間であり、打合せ協議簿において協議した期間の途中でであっても、上記について虚偽や抵触すると、専任を要しない期間を取消しするものとする。

③現場代理人の特例措置について

本工事において、「現場代理人の常駐義務緩和に関する適切な運用について」(国土建土161号平成23年11月)に基づき、現場着手が開始されるまでの間について、「安全管理や工程管理などの工事現場の運営・取締り等が困難なものではないこと」かつ「発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること」のいずれも満たす場合については常駐義務を緩和するものとする。ただし、緩和を可能とできる条件としては前記並びに、同指針(2)-ア～ウについて全てを満たすことが確認できる資料を打合せ協議簿等で提出すること。

3、週休2日制について

1 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して、週休2日について取り組む内容を協議したうえで工事を実施する週休2日促進工事である。

2 週休2日の考え方は以下のとおりである。

(1)

①受注者は、次の取組の希望の有無を工事着手前に監督職員に工事打合書等で報告し、希望する取組を行うものとする。なお、希望しない取組については、受注者は当該取組に係る内容の義務を負わない。

(2)

①受注者は、次の取組については、協議に関わらず取り組むものとする。明らかに受注者側に当該取組を行う姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて工事成績評定から点数を減ずる措置を行うものとする。

②対象期間内の現場休息率が、28.5% (8日/28日) 以上となるよう現場休息を行う。

(3)

①「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

(4)

①「現場休息」とは、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。また、降雨、降雪等による予定外の現場の閉所や猛暑による作業不能による一日を通しての現場の閉所についても、現場休息に含めるものとする。

3受注者は、工事着手前に、週休2日の取得計画が確認できる現場休息の予定日を記載した「実工程表」等を作成し、監督職員の確認を得た上で、週休2日に取り組むものとする。受注者は、分離発注工事である建築主体工事、機械設備工事、外構工事の受注者と協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場休息の予定日を調整したうえで「実工程表」等を作成する。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度、「実工程表」等を提出するものとする。監督職員が現場休息の状況を確認するために「実工程表」等に現場休息の日を記載し、必要な都度、監督職員に提出するものとする。また、施設管理者の承諾を前提に週休2日促進工事である旨を仮囲い等に明示する。

4 監督職員は、受注者が作成する現場休息の日が記載された「実工程表」等により、対象期間内の現場休息日数を確認する。

5 本工事は、対象期間の全体で4週8休以上（通期の週休2日）の現場休息を行うことを前提として予定価格を作成している。労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）の補正及び現場管理費等の補正は行っていない。